

多様性を認め合うまちづくり！ 岡山は旅行にバリアはないんじゃ県 プロジェクト



TEAM COLOR

がわん よう みぽりん みっち なかゆー



後樂園



チームcolorは、

岡山県初の

ユニバーサルツールリズム

センター

の設置をしたい

大学病院
認定遺伝
カウンセラー

十川 麗美

チーム

COLOR

メンバー

瀬戸内市観光
プロデューサー

中井 裕貴

都市/道路計画
技術士

赤池 曜

老人保健施設
理学療法士

河野 美穂

金融機関
企画開発

内田 一里

チームcolorは、

多様な価値観を認め合う
ひとに優しいまちづくり
がしたい！

もも塾での多様性についての学び

- (第4回講師・玉木氏)
車社会になっているので、岡山駅周辺等、利用者目線のバリアフリーになっていない部分が多いと感じる
- (第2回講師・阿部氏)
ベトナム人技能実習生への暴行問題
- 「点字ブロック発祥の地」は、岡山県



岡山県の多様性に関する調査

インタビュー



Try chance 代表（車いすユーザー） **長野 僚 さん**

- ✓ 障害は常に向き合っていくものではあるが、
『障害を忘れられる瞬間』を作っていくことが大切！
- ✓ 障害者の方は、特にコロナ前に比べ外出する機会が大幅に減っている！（本人は交流の機会を求めているケースが多い...）

車いすユーザー **亀井 さん** ・ UDアンバサダー **清田 さん**

- ✓ 困っていても 助けてくれる人が少ない・・・
最近は 困っていることに気づいていないとも感じる・・・
- ✓ バリアフリー設備が 利用者目線で整備されていない
（目的が基準を満たすためになっているものもあるのでは？）

岡山県の多様性に関する調査

インタビュー



兵庫県相談支援ネットワーク代表理事 玉木 幸則 さん

- ✓フル・インクルージブとは、「分けない・排除しない・平等な選択肢がある」ということだと思っている。
- ✓困っているかな？と何か気になったら、とりあえず声を掛けてほしい

障がい者向け就労支援所で働く チームcolorメンバーのお母さん

- ✓災害や事件等、緊急を要することが起きた際の障害を持った方への対応が非常に不安
- ✓障害者雇用促進法に基づいて企業における障害者雇用は一定進んでいるが、働く場所が分断されているケースが多い

岡山県の多様性に関する調査

イベント

11/12(日) 倉敷美観地区

チーム
ブラ旅

車椅子街歩きイベント参加

車いすユーザーの方と一緒に人力車に乗ったり、食事したり、買い物したり・・・
色々な観光・体験を通じて、街のバリアフリーについて考えました



問題が起こる要因とは

○経済的背景

→ハード面を整備するには、コストと時間がかかる。

○文化・歴史的背景

→島国、過去の鎖国、単一民族国家という環境が閉鎖的であり異なる文化を受け入れにくくしている。

○固定概念による停滞

→男性は仕事、女性は家庭といった家族観、高度経済成長の成功が社会の変革を停滞させている。

○コミュニケーション不足

→障害者、外国人、LGBT等
多様な価値観を持つ人と関わる機会が日常的に少ない。

○想像力の低下

→相手がどんな事に困っているのかわからない。関心が少ない。
近年、情報はパーソナライズされ、多様な価値観に触れる機会が減少。

コミュニティ

教育
啓発
キャンペーン

イベント

解決策

法的な取組み
企業経営での
取組み

地域社会の
連携体制

サービス開発

ユニバーサル ツーリズム

ユニバーサルツーリズムとは？
全ての人を楽しめるように作られた旅行であり高齢や、
障害等の有無に関わらず
誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指しています。

引用：国土交通省 観光庁ホームページ

チームcolorのメンバー
で何かできない
かな・・・？

岡山県は、 旅行にバリアは ないんじゃ県 プロジェクト

医療×インフラ×福祉×金融×観光

瀬戸内市で叶う！観光のハードルはないんじゃ県ツアー
を企画しました＼(^o^)/

COLORだからできる独自の価値提案

01

5つの専門職が連携して
ツアーを作成する。

02

車いす利用者と一緒にツアーを楽しみ、ツアーを通して街の魅力を知り、普段気づかなかった視点を体験することができる。

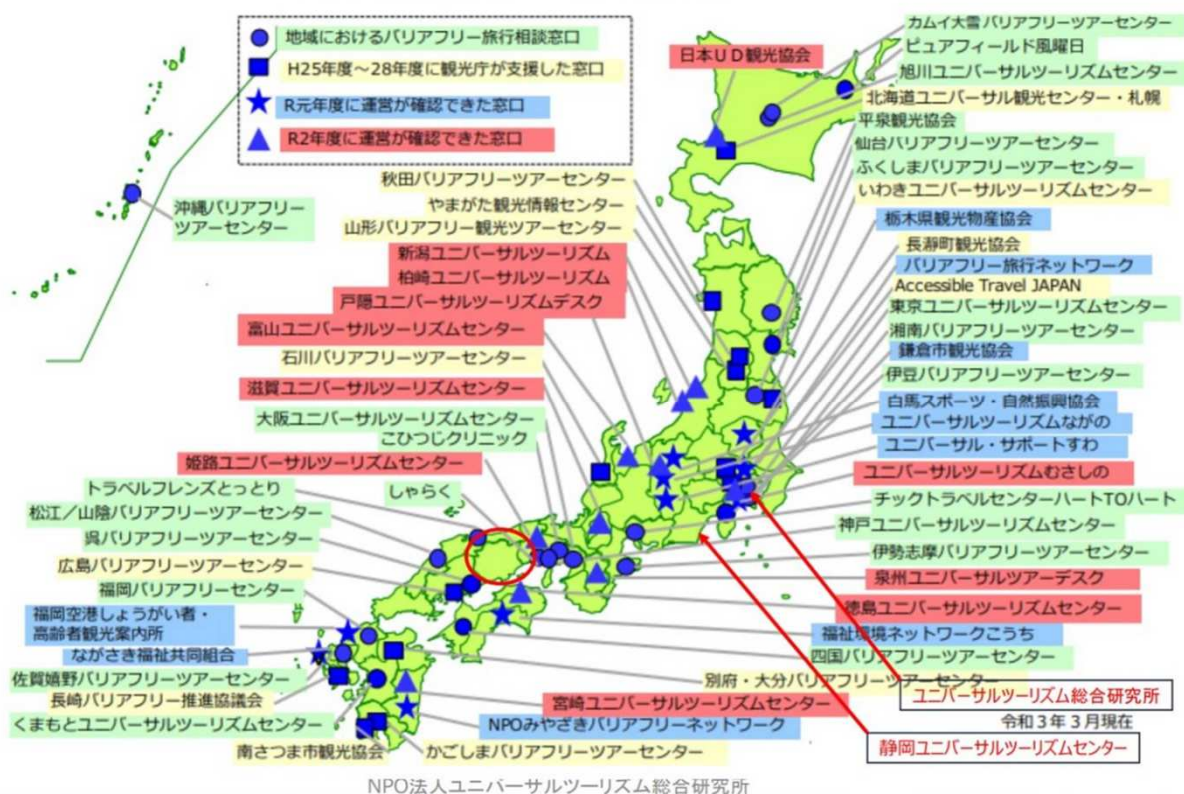
03

公共交通機関の中継点という役割と観光資源が豊かである。日帰りツアーを企画・販売することで外出のハードルが下がる。

ユニバーサルツーリズム総合研究所

ももたろう未来塾 卒業生長橋こうすけさんに調査

全国の高齢者・障がい者の旅の窓口



課題

岡山県は、
ユニバーサルツーリズム
センターがない！！

・ 2025年問題

日本人口30%が65歳以上になる。

※岡山県は前期高齢化率28位(30.6%)

・ 2024年4月から障害者差別解消法の改正に伴い、観光関連産業においても障害者が合理的配慮を求めたら可能な範囲を提案して合意形成を図らなければならない。

・ 加齢に伴う障害により旅行をあきらめる高齢者の観光関連産業の引き戻しが求められる。

引用：ユニバーサルツーリズムのすすめ
特定非営利活動法人ユニバーサルツーリズム
総合研究所 資料

長野県のユニバーサル ツーリズム推進事業

観光施設
心のバリアフリー認定



【認定マーク】

「信州ユニバーサルツーリズム」推進に向けた取組



長野県は、
ユニバーサルツーリズムツアー
を通して信州型観光ブランド化
を目指している。

- ・ 観光資源としての基盤作り
- ・ 実務人材の育成と民間・団体へのひろがり。
- ・ 新たな信州型観光としてのブランド化
- ・ 観光庁こころのバリアフリーの推進

引用：長野県庁HP
「長野ユニバーサルツーリズム事業」



兵庫県のユニバーサル ツーリズムの推進事業



・ユニバーサルツーリズムの推進に積極的に取り組もうとする宿泊施設の宣言を募る。
【要件】①チェックリストで自施設の取組状況をチェック（チェック結果を発信）
②高齢者等に配慮した従業員向け接客研修の実施又はUTおもてなし研修の受講

・県が定める要件を満たす宣言施設に対して、ユニバーサルツーリズムの推進に必要なソフト対策経費・ハード整備経費を支援

	対象	要件	補助率	上限額
ソフト	インターホンを連動したフラッシュライト導入、シャワーチェア等の購入等	チェックリストのクリア項目数が20項目以上34項目以下	1/2	30万円
ハード	①バリアフリー改修設計 ②バリアフリー改修工事(エレベーター有) ③バリアフリー改修工事(エレベーター無)	福祉のまちづくり条例に規定する基準と同等以上のバリアフリー化	1/2	① 250万円 ② 1,800万円 ③ 800万円

※ハードの補助率はR6年度までの着手分が対象（万博までの2年間を重点期間として拡充）

・宣言施設のうち、県が定める基準を満たす宿泊施設を登録
【登録基準】チェックリストのクリア項目の合計が35項目以上であること（全73項目）

・県公式観光サイト（HYOGOナビ）で宣言施設・登録施設の取組内容を発信
・利用者の関心事である各施設の障害種別ごとの取組状況等も発信（利用者目線に立った「見える化」）

兵庫県は、『兵庫ユニバーサルなお宿』

- ・事業概要観光資源としての基盤作りユニバーサルツーリズムツアーの推進に積極的に取り組むことを宣言した宿泊施設施設を県が支援し、登録・情報発信をする制度。
- ・ソフト面、ハード面に対する整備経費を支援。
- ・ロゴマークの推進

引用：兵庫県庁HP
「ユニバーサルツーリズムの推進」

チームcolorでできること

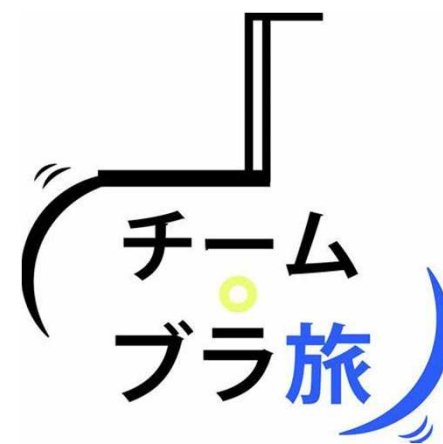
現状は、ハード面（バリアな環境）
は変えられないが、
ソフト面は、みんなで協力すれば
フォローできる！
多様な人とふれあい新たな気づき、
学ぶ時間をつくれる！！



特定非営利活動法人 
ユニバーサルツーリズム総合研究所

UT総研 誰もが旅をあきらめない社会を目指して

チームCOLORが考えたツアー



ツアー内容

10:50～ 受付開始（牛窓風まち亭）

11:00 オリエンテーション、
ツアー説明、ランチのお店決める

11:30 拠点から路線バス、徒歩で移動

12:00 ランチ（キッチンかいぞく、カフェクローバー）

13:20 介護タクシーに乗車して移動
スタッフ 中井、内田、河野 同行

13:30 オリーブ園散策

14:00 介護タクシー乗車し移動
スタッフ 十川同行

14:30 日本一駄菓子屋散策 お土産購入

15:00 介護タクシー乗車し移動
スタッフ 赤池同行

15:20 介護タクシー下車し
きびや菓子舗 お土産購入

16:00 牛窓風まち亭で交流会

17:00 解散

収入

参加料1名：2,050円～2,550円

ユニバーサルツーリズムツアー 価格設定/1名

参加費/レクリエーション保険 550円

介護タクシー代 2000円※1500円（家族割）

支出

介護タクシー：20,000円

路線バス：100円×4人（利用者各自負担）

拠点代：0円 牛窓交流プラザ風まち亭

ランチ代：900円～1,500円 各自負担

スタッフ乗車用 自動車2台 各自負担

助っ人代※ 0円

※ユニバーサルツーリズムツアー会社じえぷと

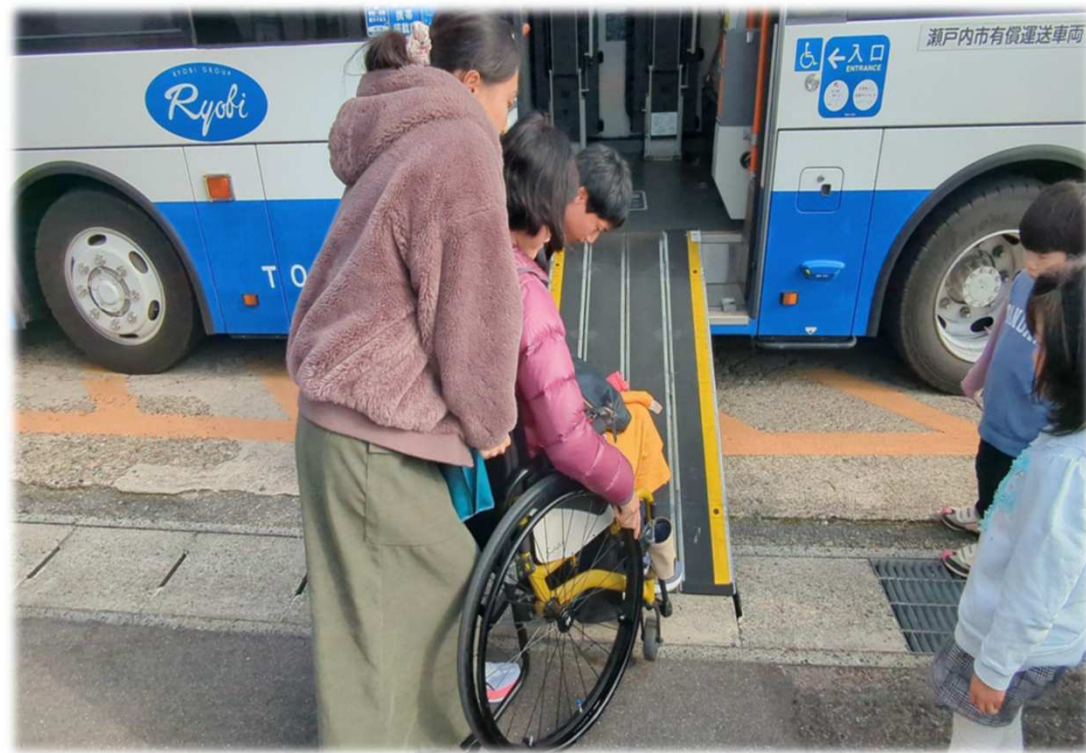
ユニバーサルツーツリズムツアーの様子



介護タクシー「まど」を利用



東備バスを利用



オリーブ園



日本一駄菓子屋



アンケート結果：対象属性

参加者：13人（スタッフ5人＋参加者8人）＋犬1匹

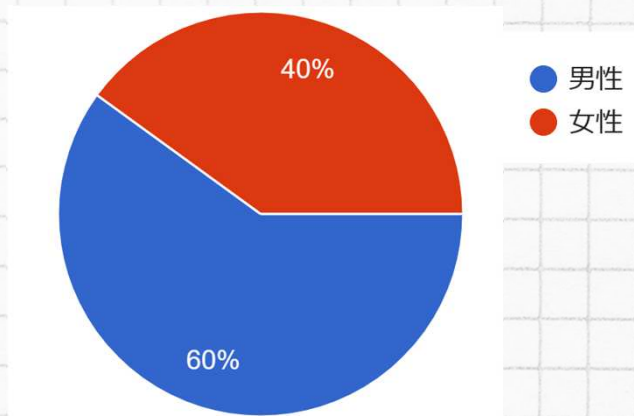
回答可能者：11人（子ども除外）

回答者：10人（スタッフ5人＋参加者5人） 回収率：90.9%

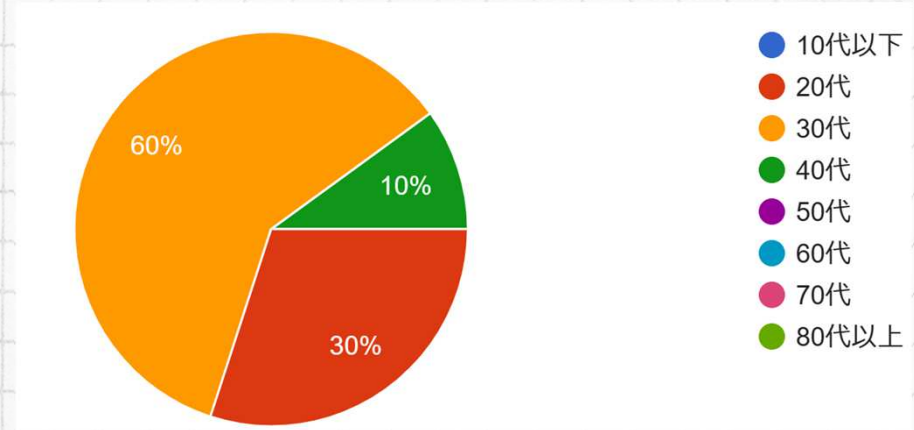
男性6人、女性4人

20代3人、30代6人、40代1人

性別

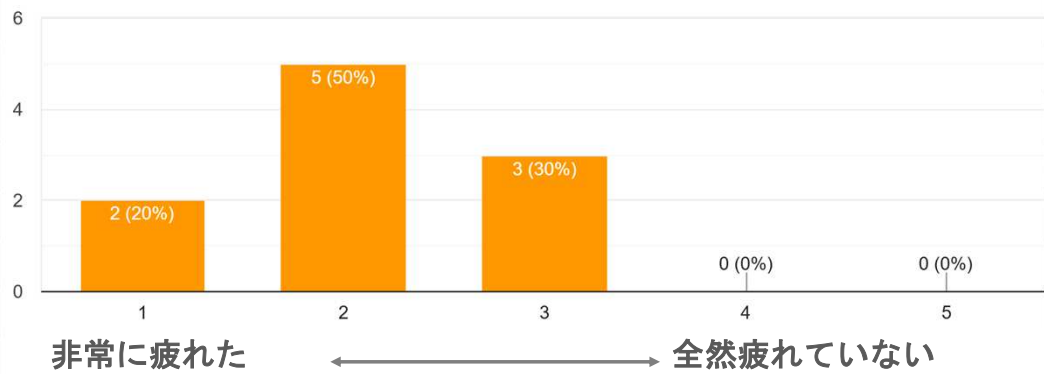


年齢

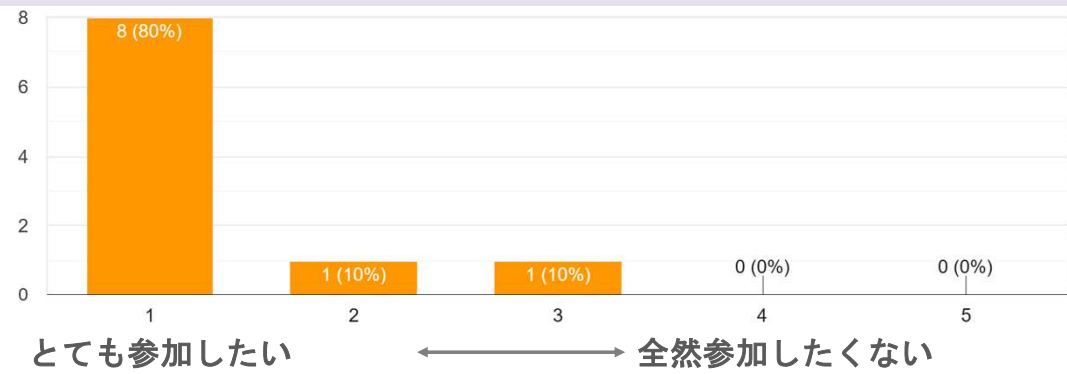


アンケート結果：今回のプログラムについて

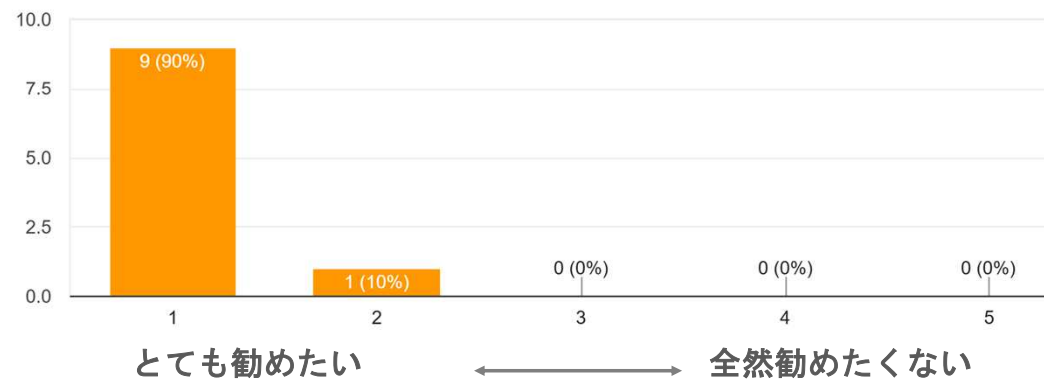
本日の体の疲れ具合はいかがでしたか？



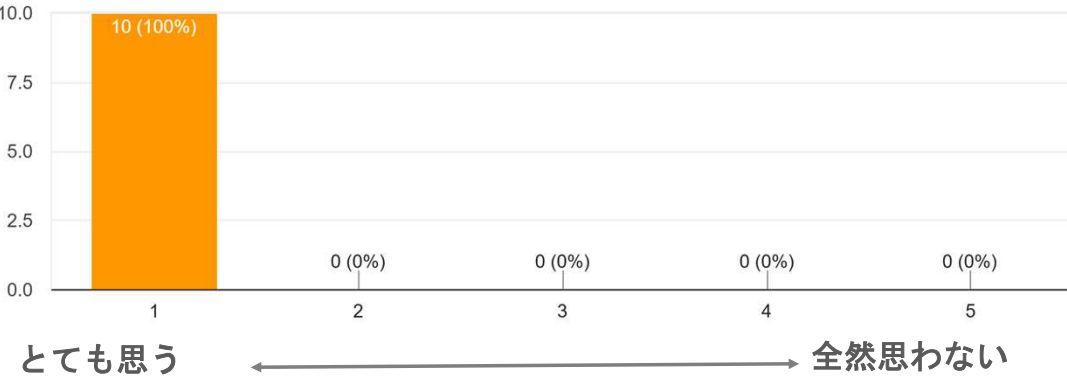
今後、このようなユニバーサルツーリズムのプログラムがあれば参加したいと思いますか。



このようなユニバーサルツーリズムのプログラムがあれば周りに勧めたいと思いますか。



このようなユニバーサルツーリズムを行うことで多様性について理解が深まることにつながるとは思いますか。

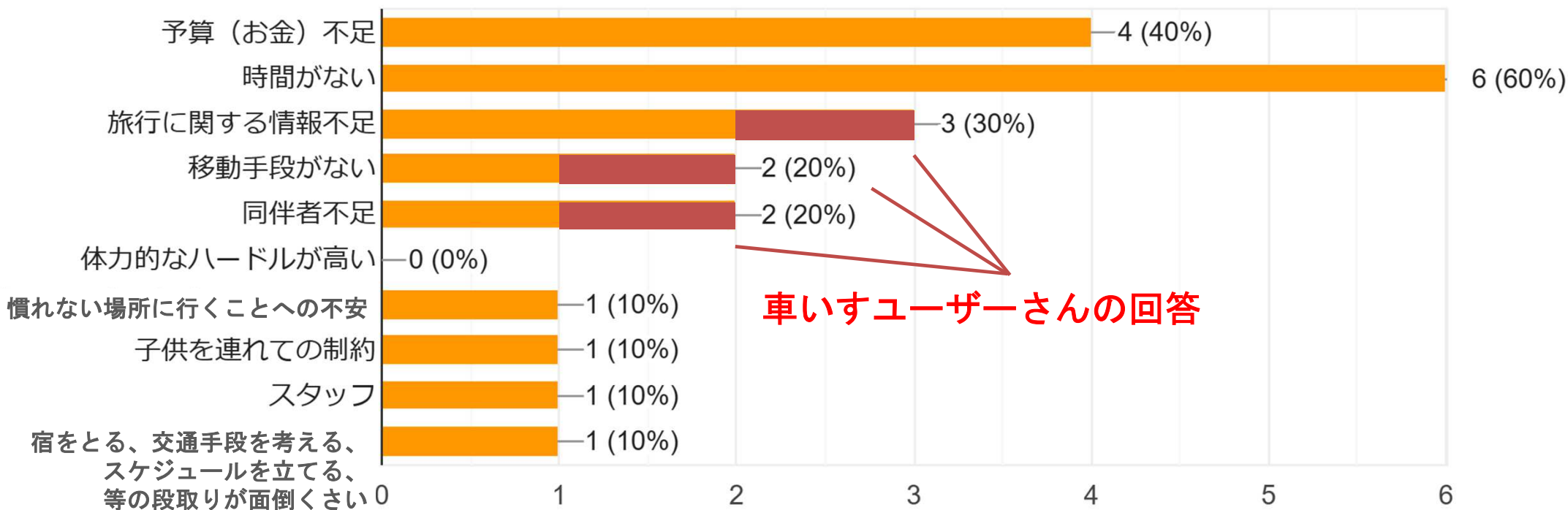


アンケート結果：旅行について（自由記載）

- **楽しかった場所や出来事がありましたか？（一部抜粋）**
 - 様々な場所に計画的に行くことができたり、ランチや道中の会話も楽しかったです。
 - 介護タクシーも初めて乗ったので、運転手の方といろいろ話すことができ、業界の大変さを知ることができた。
- **改善してほしいことはありますか？**
 - 路線バスにおいて規則上、車椅子が1台しか乗れなかったこと
 - お店のバリアフリー問題
- **困ったことはありましたか？**
 - 車いすユーザーの介助
 - 子どものサポート

アンケート結果：障壁について①

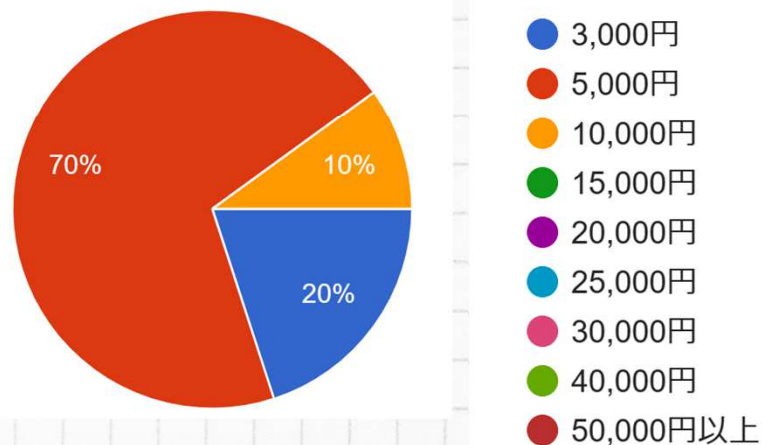
旅行に対するあなたの障壁を教えてください。（複数回答可）



アンケート結果：障壁について②

本日のツアーは、どれくらいの費用だったら、参加したいと思いますか？

今回参加料：2050円～2550円



▶ 今後アクティビティや体験ができるツアーなどの企画検討へ

事業計画【コンサルティング】

事業概要	施設側への コンサル事業	人材育成事業	講演事業	広告事業	調査事業
具体的な事業内容	ハード・ソフト面での コンサルティング	施設の職員の方へ身 障者サポートを研修	ユニバーサルツーリズム についてや、具体的 事例などを講演	ユニバーサルツーリズム に対応した施設や体験を SNSにより広報	ユニバーサルツーリズムの モニタリング調査・バリア フリー調査
クライアント	宿泊施設・飲食店 アクティビティ施設	宿泊施設・飲食店 アクティビティ施設	観光協会 自治体観光部署 DMO・団体等	宿泊施設・飲食店 アクティビティ施設 観光協会	行政機関

事業計画【旅行業】

- ・ユニバーサルツーリズムツアーの企画・販売
- ・コンシェルジュ（オーダーメイド型）旅行の販売
- ・緊急時サポート窓口事業

チームcolor

ユニバーサルツーリズムから
多様性を認め合う
ひとに優しいまちづくりを

3 すべての人に
健康と福祉を



10 人や国の不平等
をなくそう



最後に

今日から
この場から
皆で創ろう!



ご清聴ありがとうございました

TEAM COLOR